

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年7月31日掲載

1年1組 荒木冬伍

僕は初めての中体連を終えて、学んだことがあります。

一つ目はこれまで先輩方と練習を頑張ってきた中で、練習の時にできなかったことは本番では絶対にできないということです。練習をたくさん重ねてきて、その中で新しいチャレンジをして、成功したり、失敗したりしてきました。毎日の練習でやってみたこと、成功したことは本番の試合の中でもうまうまいきしましたが、本番で初めてやってみたことはうまうまいきませんでした。これはスポーツだけではなく、いろいろなことに通じることだと思います。これからは本番を迎える前に、いろいろなチャレンジをし、自分を高めていきたいと思いました。

二つ目は、中体連大会の重さです。試合で負けた後、先輩達が悔し涙を流していました。先輩達にとって、中体連がこんなに重いものだったのかと改めて気づかされました。だから、来年は今年以上に先輩をサポートし、悔し涙ではなく、うれし涙で終われるようにしたいです。そのために、この夏休みから2年生とともにしっかり練習していきたいです。